

子育てなんでも相談室

選ぶのに時間がかって困る

Q 5歳の息子は何かを選ぶとき、とても時間がかかり、困っています。絵本や玩具を買うときはもちろん、お店で無料でもらえるようなものも2種類あれば、じっと迷っています。

A 「もう！早く選んでよ～」と言いながら、その都度、じっと待ってあげている優しいお母さんの姿が目につかびます。

選ぶのに子供が迷うときは、そのどちらにも魅力が備わっているときです。最終的に1つしか獲得できないのですから、子供の気持ちを考えると、迷うのも無理ない気がします。

買い物でも何でも、どれにしようか悩むときは苦痛ではなく、むしろ楽しい時間であることが多いものです。お子さんも、その迷う時間を楽しんでいるのかもしれない。

大人でも、服を1枚選ぶのに30分くらいかかることがあります。そんなとき、横から「早く選べ！」「どれでも一緒

！」なんて言われたら、楽しいショッピングタイムも台無しですよ。あれこれ選んでいるときにせかされる子供は結局、欲しくもないものを手にすることがあります。かわいそうですよね。

お子さんは自分で決め兼ねるタイプのようなので、迷ったときはお母さんが決めてやってもいい気がします。その際、「こちらにしてください」ではなく、「こちらが〇〇なのでいい」と、ちょっとした選定ポイントを言うのです。

お子さんはその言葉に勇気づけられ、「実は僕もそう思っていたんだ」と、そちらを選ぶでしょう。お母さんは勧めはしましたが、決めたのは本人。自分で選んだ気になっています。そして、家で何度も「これにしてよかったね」と、選んだ方を褒めるのです。

子供が選んだものを褒め、「あっちにすれば良かったのに」を言わないだけで、子供は「自分で選ぶ」ということに自信を持つようになります。迷ったときは、どちらを選んでも正解である場合が多いものです。選んだ方を十分に楽しんでいけばいいのです。

(こどもコンサルタント 原坂一郎)